

## 【東海連合支部総会・講演会 ハイブリット形式で開催される】

東海連合支部の2021年総会・講演会は、2021年5月16日（日）13時30分より、名古屋駅前のウィングあいち9階905会議室を会場に設定し、会場参加14名オンライン参加18名によるハイブリット形式で開催された。開会に先立ち、司会の阿部（桂）副連合支部長兼三重支部長が、会場参加者とオンライン参加者の出席確認を行い、開会を宣言した。

総会式次第に則り、三浦連合支部長から多数の参加者へのお礼と、オンライン参加されたご来賓の久米原理事長様、講師の本島教授、小河原関西連合支部長様、坂本静岡連合支部長様、他オブザーバー参加の方々を紹介し、参加のお礼とハイブリット形式の総会開催の意義について述べ、今後、リモートでは『親睦：人間味』が課題となろうとの挨拶があった。

続いて、ご来賓の久米原理事長様から、「今回のハイブリット形式総会に参加し、（東海連合支部の）100周年への力強い雰囲気伝わってくる。コロナ禍で接触型会合が開催しにくい状況で、（東海連合支部の）行事結果をみると大いに活動している。素晴らしい。工業会・大学の動きと100周年の段取りを伝えたい。また、これからの100年に向けてバトンタッチしたい。」と用意していただいた資料を使って詳細なメッセージを述べられた。



総会－三浦支部長挨拶

総会は、1号議案「新旧連合支部長交代」とその他役員継承、2号議案「東海連合支部の行事報告と計画、会計報告（実績・予算）」及び愛知支部、岐阜支部の行事、会計報告が一括提案・採決され、賛成多数で承認された。次に、清水新連合支部長が誕生した。新旧連合支部長の挨拶として、三浦前支部長から「涓樹江雲」の心境で活動に参加する旨のメッセージ、更に、新たな企画で多くの人に参加出来るようにしたいとの清水新連合支部長のメッセージがあった。また、関西連合支部長と静岡連合支部長より一言コメントを頂いた。総会終了後、会場のスクリーンにオンライン参加者をアップロードし、その両脇に会場参加者が並び記念撮影した。



総会全体写真



総会・講演会－オンライン参加者

その後、理工学部の本島教授による「電磁波を用いた地震予知への挑戦」と題したりモート講演会が開始された。

研究室の基本方針に「やってみなさい」を掲げるなど、自己紹介されたあと、地震予知の3要素や、予知の可能性に触れられた。地震とFM波の伝搬異常に関連する興味深いデータを発表され、さらに伝搬異常との関連性についての信頼性をAIの観点からも研究しているとの事を述べられた。

難解な現象を平易に解説して頂き、誠に時宜をえた講演会でありました。

(文責 関口)

「